この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身やご家族の試料や診療情報をこの研究に使用してほしくない場合は、下欄の問い合わせ担当者までご連絡ください。お申し出によって、今後の診療で不利益を受けることはありません。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 **卵巣高異型度漿液性癌における RAD51 応答性の空間的不均一性と関連する病理形態および超微細構造の探索**
	●研究の対象 2019 年 1 月 1 日から 2026 年 5 月 30 日までに、浜松医科大学医学部附属病院で卵巣、卵管または原発性腹膜の高異型度漿液性癌と診断または治療され、手術または生検で採取された腫瘍組織が保存されている方（最大 30 名程度）
	●研究の目的 卵巣高異型度漿液性癌では、DNA の傷を修復する働きが弱くなっていることがあり、治療への反応と関係すると考えられています。RAD51 というたんぱく質の集まり（RAD51 foci）を調べることで、この修復機能を組織の中の領域ごとに評価できる可能性があります。 この研究では、通常診療で既に保存されている腫瘍組織を用いて RAD51 foci を評価できるかを確認し、RAD51 foci が多い領域と少ない領域で、顕微鏡でみた組織の形や細胞表面の微細な構造に違いがあるかを調べます。また、診療記録から得られる治療への反応や再発・予後との関連も探索的に検討します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2031 年 3 月 31 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究は浜松医科大学のみで実施し、外部の研究機関へ試料・情報を提供しません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 試料：通常診療で手術または生検により採取され、保存されている腫瘍組織（FFPE ブロック、HE 染色標本、免疫染色標本、未染色切片、診療後の残余組織）等 情報：診断時年齢、診断年月、原発部位、進行期、病理診断、検体の採取部位・保存状態、治療内容、治療への反応、プラチナ感受性、PARP 阻害薬使用歴、再発、最終観察日、転帰、診療上実施された BRCA1/2 検査・HRD 検査の結果等 研究では、組織の形、RAD51・Geminin・γH2AX 等の染色所見、および NanoSuit-CLEM/SEM による細胞表面の微細構造を評価します。解析用データには氏名、患者 ID、生年月日などの直接個人を特定できる情報を含めません。
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 研究責任者： 河崎 秀陽
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡いただいた時点以降、可能な範囲で試料・情報の利用を停止し、研究対象から除外します。ただし、既に個人を特定できない形で集計・解析された結果や、既に学会・論文等で公表された成果については、取り消すことができない場合があります。
≪資料の入手または閲覧≫	この研究の計画や方法については、ご希望に応じて、他の研究対象者の個人情報や研究の独創性・知的財産権を損なわない範囲で、研究計画書等の資料を閲覧することができます。希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪情報の開示≫	この研究で行う RAD51 foci、免疫染色および NanoSuit-CLEM/SEM の評価は探索的なもので、診断や治療上の意義が確立していないため、原則として個別の研究結果はお伝えしません。研究全体の成果は、個人が特定されない形で学会や学術雑誌等に公表します。研究の概要や公表済みの成果について開示を希望される場合は、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲で対応します。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 産婦人科学講座 担当者： 江藤千佳 TEL： 053-435-2309 E-mail： of.fujishita@gmail.com